



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ク セ ラ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 岡 毅
(コード番号：6731 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 岩 井 亨
(TEL. 050-1780-3296)

第 13 回無担保普通社債、第 14 回無担保普通社債及び第 15 回無担保普通社債に係る 資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025 年 11 月 28 日に発行した株式会社ピクセラ第 13 回無担保普通社債、2026 年 1 月 20 日に発行した株式会社ピクセラ第 14 回無担保普通社債及び 2026 年 3 月 16 日に発行した株式会社ピクセラ第 15 回無担保普通社債（以下、総称して「本社債」といいます。）について、資金使途及び支出予定時期を変更すること（以下「本資金使途変更」といいます。）を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本資金使途変更の理由

本社債に係る資金使途については、2025 年 11 月 25 日付「第 13 回無担保普通社債（私募債）の発行に関するお知らせ」、2026 年 1 月 15 日付「第 14 回無担保普通社債（私募債）の発行に関するお知らせ」及び 2026 年 2 月 2 日付「第三者割当による第 21 回新株予約権の発行及び新株予約権の割当契約の締結、無担保社債（私募債）の発行、株式の併合並びに定款の一部変更に関するお知らせ」に記載のとおり、既存事業の供給力及び販売力の強化、商品・サービス開発、インセンティブデータ/Fintech/Web3 関連施策、ウェルネスハブ事業、M&A の検討並びに株式併合関連費用等に充当することを予定しておりました。

その後、当社グループでは、理美容関連製品を中心とする「Re・De」ブランドの認知拡大、テレビ CM 及びブランドミューズの起用、国内外の販売チャネル拡大等を進めてまいりました。これらの施策を背景として、2026 年 6 月 26 日付の当社プレスリリースで公表したとおり、「Re・De Hairdry+」及び「Re・De Hair Straight」について一部販売チャネルで一時的な品薄及び欠品が発生するなど、当初の想定を上回る需要が生じました。また、既存製品及び新製品の安定供給、輸入・物流、品質管理、店頭展開及び販売機会の確保を早期に進める必要性が高まりました。

一方、当社が推進する Web3 プロジェクト「WellthVerse」については、2026 年 3 月 31 日にロードマップを更新し、同年 6 月末から次世代スマートリング「Re・De Ring Gen2」と連携した Closed β テストを開始するなど、正式版に向けた開発及び検証を進めております。また、健康管理アプリ「カロミル」を展開するライフログテクノロジー株式会社との食事・睡眠・活動データ連携の検討、Fidesmo AB とのウェアラブル決済に係る技術協業、Selepu Technology Limited との脳活動・睡眠データ連携に向けた協業等を進めております。これらに関連する研究開発・プロダクト開発、インセンティブ原資・決済/提携費並びにシステム/データ基盤・セキュリティについては、当初計画額を維持し、WellthVerse の Web3 アプリ、ブロックチェーン及び NFT 関連機能、インセンティブデータ基盤、EveryPoint 等との連携、ポイント交換・特典原資並びに外部事業者との開発・運用・提携に係る費用として充当しております。

これに対し、ウェルネスハブ事業の実店舗に係る出店・内装設備については、現時点で具体的な出店場所、規模及び実施時期が確定しておらず、M&A 関連費用についても具体的な対象案件が決定していないこと

から、本社債資金からの支出は行っておりません。以上を踏まえ、資金効率を高め、より早期に売上及び収益への寄与が見込まれる施策を優先するため、これら2項目に配分していた合計130百万円を、生産・在庫・供給体制の強化に75百万円、マーケティング・販促に55百万円、それぞれ再配分することといたしました。なお、本資金使途変更による本社債の調達総額1,600百万円の変更はありません。

また、各施策を当初の想定より早期に実施した結果、2026年8月7日現在、本社債による調達資金1,600百万円のうち1,399百万円を各資金使途に充当しております。未充当額201百万円については、10百万円を2026年8月31日までに、191百万円を同年9月30日までに充当する予定であるため、支出を継続する各資金使途の終期を2027年3月から2026年8月又は9月へ変更いたします。

なお、2026年8月7日現在の充当額は、いずれも変更前の予定額の範囲内であり、本資金使途変更の決議前に変更後の増額部分へ充当しておりません。未充当額201百万円は、本日付の取締役会決議後、変更後の資金使途及び支出予定時期に従い充当する予定です。

2. 本資金使途変更の内容

本資金使途変更の内容は、以下のとおりです。変更箇所には下線を付しております。

【変更前】

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
生産・在庫・供給体制の強化	<u>400</u>	2025年12月～ <u>2027年3月</u>
マーケティング・販促（運用型広告、PR、SNS等による認知・獲得施策及び継続利用を促すコミュニケーション施策）	<u>245</u>	2025年12月～ <u>2027年3月</u>
プロダクト・データ・セキュリティ・マーケティング・店舗運営等の機能強化に係る人材採用・外注費	220	2025年12月～ <u>2027年3月</u>
インセンティブ設計、プロダクト連携機能の初期実装、既存製品・体験価値の改善、PoC推進等に係る研究開発・プロダクト開発	200	2026年1月～ <u>2027年3月</u>
インセンティブプログラム及び決済連携の立上げに必要なインセンティブ原資・決済／提携費	160	2026年1月～ <u>2027年3月</u>
システム／データ基盤・セキュリティ（データ連携・分析基盤やCRM／CDP等の整備、セキュリティ対策・運用体制の強化）	150	2026年1月～ <u>2027年3月</u>
ウェルネスハブ事業の初号店PoC立上げに係る出店・内装設備費	<u>80</u>	<u>2026年3月～2027年3月</u>
M&A関連費用（DD等）	<u>50</u>	<u>2026年3月～2027年3月</u>
運転資金・予備費	45	2026年3月～ <u>2027年3月</u>
株式併合費用（先行分）	50	2026年1月～ <u>2027年3月</u>
合計	1,600	—

【変更後】

（注）各欄の括弧外は変更後の予定額を、括弧内は本日時点の各充当額をそれぞれ百万円単位で記載しております。

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
生産・在庫・供給体制の強化	475 (389)	2025 年 12 月～2026 年 9 月
マーケティング・販促（運用型広告、PR、SNS 等による認知・獲得施策及び継続利用を促すコミュニケーション施策）	300 (238)	2025 年 12 月～2026 年 9 月
プロダクト・データ・セキュリティ・マーケティング・店舗運営等の機能強化に係る人材採用・外注費	220 (217)	2025 年 12 月～2026 年 9 月
インセンティブ設計、プロダクト連携機能の初期実装、既存製品・体験価値の改善、PoC 推進等に係る研究開発・プロダクト開発	200 (184)	2026 年 1 月～2026 年 9 月
インセンティブプログラム及び決済連携の立上げに必要なインセンティブ原資・決済／提携費	160 (138)	2026 年 1 月～2026 年 9 月
システム／データ基盤・セキュリティ（データ連携・分析基盤や CRM／CDP 等の整備、セキュリティ対策・運用体制の強化）	150 (148)	2026 年 1 月～2026 年 9 月
ウェルネスハブ事業の初号店 PoC 立上げに係る出店・内装設備費	0 (0)	支出予定なし
M&A 関連費用（DD 等）	0 (0)	支出予定なし
運転資金・予備費	45 (35)	2026 年 3 月～2026 年 8 月
株式併合費用（先行分）	50 (50)	2026 年 1 月～2026 年 8 月
合計	1,600 (1,399)	—

本社債による調達資金 1,600 百万円のうち、本日時点の充当額は 1,399 百万円、未充当額は 201 百万円です。未充当額のうち、運転資金・予備費の未充当額 10 百万円は 2026 年 8 月 31 日までに、残額 191 百万円は同年 9 月 30 日までに、それぞれ全額を充当する予定です。

本表に記載する充当額は、本社債の発行により調達した資金の充当状況を示すものであり、第 21 回新株予約権の発行及び行使により調達した資金の充当状況とは区分して管理しております。

なお、本資金使途変更は、本社債により調達した資金 1,600 百万円の資金使途及び支出予定時期を変更するものであり、第 21 回新株予約権の発行及び行使により調達する資金の使途を変更するものではありません。第 21 回新株予約権について、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

3. 各資金使途の変更内容及び充当内容

以下に記載する充当額及び未充当額は、百万円未満を四捨五入しております。

（1）生産・在庫・供給体制の強化 400 百万円から 475 百万円へ変更（75 百万円増額）

理美容関連製品、調理家電、冷蔵・冷凍庫、AV 関連製品その他の既存製品及び新製品について、製造委託先への発注、部材・製品の仕入れ、金型、品質検査、輸入、物流、保管及び安全在庫の確保等に充当しております。テレビ CM 及びブランドミューズの起用等を契機として「Re・De Hairdry+」及び「Re・De Hair Straight」等の需要が当初想定を上回ったこと、国内外の販売チャネルで安定供給を確保する必要があることから、ウェルネスハブ事業の初号店 PoC 立上げに係る出店・内装設備費 80 百万円及び M&A 関連費用 50 百万円から合計 75 百万円を再配分し、475 百万円へ増額いたしました。

2026年8月7日現在の充当額は389百万円であり、未充当額86百万円は2026年9月30日までに充当する予定です。

(2) マーケティング・販促（運用型広告、PR、SNS等による認知・獲得施策及び継続利用を促すコミュニケーション施策） 245百万円から300百万円へ変更（55百万円増額）

テレビCMの出稿、運用型広告、PR、SNS、インフルエンサー施策、店頭及びECでの販促、受賞ロゴ等の利用、コンテンツ制作、海外市場を含む認知・顧客獲得並びに継続利用・再購買を促すコミュニケーション施策に充当しております。ブランドミューズを起用したCM施策及びこれと連動する販売促進施策を機動的に展開し、認知拡大を販売につなげるため、上記130百万円のうち55百万円を本項目へ再配分し、300百万円へ増額いたしました。

2026年8月7日現在の充当額は238百万円であり、未充当額62百万円は2026年9月30日までに充当する予定です。

(3) プロダクト・データ・セキュリティ・マーケティング・店舗運営等の機能強化に係る人材採用・外注費 220百万円（変更なし）

本資金は、当初計画のとおり、プロダクト、データ、セキュリティ、マーケティング及び店舗運営等の事業機能を強化するために必要な人材採用費並びに外部専門事業者への業務委託費に充当しております。具体的には、商品・サービスの企画及びマーケティング施策の実行に必要な採用支援費並びに広告・販促施策の企画、制作進行、運用支援及び効果検証等に係る業務委託費に充当しております。このため、計画額220百万円の変更はありません。

2026年8月7日現在の充当額は217百万円であり、未充当額3百万円は2026年9月30日までに同一の資金用途へ充当する予定です。

(4) インセンティブ設計、プロダクト連携機能の初期実装、既存製品・体験価値の改善、PoC推進等に係る研究開発・プロダクト開発 200百万円（変更なし）

AV関連製品、理美容・ウェルネス関連製品及び各種IoT製品の新規開発、金型、認証、既存製品の機能・体験価値の改善、インセンティブ設計、プロダクト連携機能の初期実装及びPoCに充当しております。

具体的には、PoiTele、Re・De Ring Gen2、Fidesmo Pay対応スマートリング、スマートバンド、美容機器その他の新製品・周辺機能の開発及び検証を含みます。これらは、商品販売に加えて継続的な顧客接点及びデータ活用を構築するための基盤となることから、当初計画額を維持しております。

2026年8月7日現在の充当額は184百万円であり、未充当額16百万円は2026年9月30日までに充当する予定です。

(5) インセンティブプログラム及び決済連携の立上げに必要なインセンティブ原資・決済／提携費 160百万円（変更なし）

顧客の獲得、商品・サービスの利用、健康行動、継続利用及び再購買を促進するポイント・特典等のインセンティブ原資、ポイント交換費用、決済・認証・会員・外部ポイントサービスとの連携・運用費並びに外部事業者との提携費用に充当しております。また、インセンティブ付与及びデータ取得の顧客接点となるPoiTele及びRe・De Ringの初期展開、店頭展示、実証及び関連する外部サービス連携等にも充当しております。EveryPointにおけるポイント交換、WellthVerseにおける健康行動の価値化及び将来の決済連携を段階的に進めるため、当初計画額を維持しております。

2026年8月7日現在の充当額は138百万円であり、未充当額22百万円は2026年9月30日までに充当する予定です。

(6) システム／データ基盤・セキュリティ（データ連携・分析基盤やCRM／CDP等の整備、セキュリティ対策・運用体制の強化） 150百万円（変更なし）

本資金は、WellthVerseを含むWeb3アプリ、EC・会員・CRM関連システムその他のソフトウェアの開発・運用、インセンティブデータの連携・蓄積・分析基盤、クラウド環境及び外部サービス連携の整備並びにデータ保護、法務・規制及びセキュリティ対応に係る費用に充当しております。WellthVerseは、Re・

De Ring Gen2 と連携した Closed β テストを通じて、睡眠・活動等のデータ可視化、キャラクター機能、健康行動に応じたインセンティブ設計等の検証を進めております。今後の正式版及び外部データ・決済サービスとの連携に向けた開発・運用基盤として必要であるため、当初計画額を維持しております。

2026 年 8 月 7 日現在の充当額は 148 百万円であり、未充当額 2 百万円は 2026 年 9 月 30 日までに充当する予定です。

(7) ウェルネスハブ事業の初号店 PoC 立上げに係る出店・内装設備費 80 百万円から 0 百万円へ変更 (80 百万円減額)

本項目は、ウェルネスハブ構想全体に係る費用ではなく、初号店 PoC を含む実店舗の出店、設計、内装及び設備等に係る費用として計画していたものです。ウェルネスハブの実店舗については、事業性、投資回収、運営体制及び他の顧客接点との連携方法を検討しておりますが、現時点で具体的な出店場所、規模及び実施時期は確定しておらず、本社債資金からの支出実績はありません。このため、本社債資金からの充当を見送り、80 百万円を生産・在庫・供給体制の強化及びマーケティング・販促へ再配分いたしました。本資金使途変更は、本社債資金からの当面の出店・内装設備費の充当を見送るものであり、ウェルネスハブ構想そのものの中止を決定したものではありません。今後、具体的な事業計画及び実施時期が確定し、適時開示が必要となる場合には、速やかに公表いたします。

2026 年 8 月 7 日現在の充当額は 0 百万円です。

(8) M&A 関連費用 (DD 等) 50 百万円から 0 百万円へ変更 (50 百万円減額)

当社事業とのシナジー、投資回収可能性及び財務健全性等の観点から案件を検討してまいりましたが、現時点で具体的な対象案件は決定しておらず、デューデリジェンス、FA、法務・会計等の専門家費用の支出実績はありません。投資規律を重視し、具体的かつ合理的な案件がない状況で支出を行わない方針の下、50 百万円を生産・在庫・供給体制の強化及びマーケティング・販促へ再配分いたしました。本資金使途変更は、本社債資金からの M&A 関連費用の充当を見送るものであり、将来の M&A 又は戦略投資の検討自体を中止するものではありません。今後、具体的かつ合理的な案件が決定した場合には、必要な社内手続を経たうえで、適時開示規則に従い公表いたします。

2026 年 8 月 7 日現在の充当額は 0 百万円です。

(9) 運転資金・予備費 45 百万円 (変更なし)

各事業及び施策の立上げ、需要変動、販売・広報施策、事務手続その他の実行過程で当初個別に見込み難かった一時的な費用及び運転資金に充当しております。事業環境の変化に機動的に対応するため、当初計画額を維持しております。

2026 年 8 月 7 日現在の充当額は 35 百万円であり、未充当額 10 百万円は 2026 年 8 月 31 日までに充当する予定です。

(10) 株式併合費用 (先行分) 50 百万円 (変更なし)

2026 年 4 月 1 日を効力発生日として実施した株式併合に係る証券代行事務、株主対応その他の株式事務関連費用に充当しております。当初計画額の範囲内で充当していることから、金額の変更はありません。

2026 年 8 月 7 日現在の充当額は 50 百万円であり、変更後予定額の全額を充当済みです。

4. 今後の見通し

本資金使途変更は、本社債による調達総額の変更を伴うものではありません。また、当社は、現時点において 2026 年 9 月期の業績予想を開示しておりません。2026 年 9 月期の連結業績への影響については、現在精査中です。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

以 上